

昇降機業界に携わる人の紹介



エレ人十色 No. 04

1. プロフィール

名 前：加藤 雅樹
 な ま え：かとう まさき
 会 社 名：三菱電機ビルソリューションズ株式会社
 所 属 部 署：開発本部 開発戦略推進部
 職 種：開発設計
 入 社 年 度：2008年度



2. 担当業務について

入社以来、国内および海外向けエレベーターに使用する安全装置の開発設計を担当してきました。2018年からは、タイにある海外グループ会社のR&Dセンターに出向し、現地生産化の推進やローカル機種開発の業務に携わりましたが、現在は帰国し、グローバルに点在するR&Dセンターの開発支援を行う部署で業務に励んでいます。

現在の部署では、海外のR&Dセンターとやり取りする業務が多いため、海外拠点の雰囲気に触れる機会が多いのですが、一つとして似通った拠点はなく、それぞれの特色があります。時には正反対の特色をもつ二つの拠点に対して、全く逆のことを伝えなくてはならないこともあります。アクセルとブレーキのバランスに苦勞することもあります。歴史や文化、習慣、会社を取り巻く市場環境の違いが、これほど思考や行動の差となって現れるとは思っていませんでした。

3. 趣味など

海外赴任先のタイで経験した貴重な海外生活は、振り返ると今でもとても印象に残っており、多くの影響を受けていました。タイで訪れた海の美しさや非日常的なリゾート感到感動してからは海が大好きになり、長期休暇は海で過ごすことが我が家の定番になりました。また、とにかく人生を楽しむことを大切にする姿勢にも刺激を受け、考え方も変わりました。

タイ赴任期間の終盤には、現地人に道を尋ねられる程に馴染んでいた私ですが、それでも整備された工業団地内を歩く飼い犬ならぬ飼い象、都心の幹線道路を封鎖して行われる水かけ祭り、数時間で街が水没するほどのスコールなど、帰任するまで驚きに溢れた日々でした。

4. 読者へのメッセージ

昇降機の外観意匠、インターフェース、機能といった面を見ても、国や地域の違いにより需要傾向が異なります。その背景を辿ると、歴史や文化、習慣に根差したものもあり、深掘りを進めるうちに、気づいていなかった自分の考え方や自国文化の再認識につながることがあります。こうした気づきの経験が、視野を広げてくれると感じています。

コロナ禍や不安定な世界情勢の中、以前にも増して世の中の変化が加速していますが、一方でどこか停滞しているような感覚を受けるときがあります。日々の気付きを大切に、違いを楽しみ、学ぶ姿勢を大事にしていきたいと思います。

5. 上長のコメント

加藤さんはタイ出向経験を経て、いろいろな考え方、文化、習慣に触れ視野を広げられました。これは、現在の業務に大いに生かされているものと思います。

グローバル開発関連業務をとおして、海外拠点とお互いの技術を高め、更なる活躍を期待しています。